

# 青年のパワー見せました！

## 中国四国九州ブロック青年教職員学習交流集会in香川

### 香川教育

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/



10回を数えた実行委員会では、話し合いも白熱しました。



おまんじゅうでおもてなし  
Let's do it together  
葉っぱってそんなに簡単に作れるんですか!! どんぐりも5分! 小学校の先生って、魔法使いや~!(^\_^)!



手作りのマモン帽子

2015年2月全国青年教職員交流集会以山口県から開催旗を引き継ぎました。高教組と香教組の青年部長二人つきの実行委員会からスタートしました。「やるからには、参加した組合員がよかった!」と思えるような会にしたい!」そんな思いを2人で確認したそうです。それぞれの組織で声をかけ、実行委員は10名を越えました。実行委員会の回を重ねるにつれて、個性が輝き始め、さまざまな想いが議論されました。高教組青年部長は、「うどんが作りたい!」と主張するものの一度は不採用。しかし、話し合いを重ねるうちに岡山県人の強い希望だとわかり、厳しい日程を調整し実現しました。県外参加者だけでなく、県内参加者にも大好評でした。

香川大会ロゴ  
香教組青年部員のオリジナルデザイン

全教共済  
春募集始まります!



- 【2日目のプログラム】
- ① 朝の会&帰りの会
  - ② ワークショップ
  - A こんぴら登り隊
  - B うどんつくり隊
  - ③ 分科会
  - A 特別支援教育
  - B 小・中・高の実態と連携は?
  - C 戦争体験を語り継ごう
  - D 戦争を知らない世代にできること
  - E ワークショップ SST など実践講座
  - F 困った! 保護者対応について考えよう

た香教組青年部長。実行委員会では、「できないからあきらめるのではなく、どうすればやれるかを考えよう」を合い言葉に準備は進められました。

と県教委は回答している。「病休者はここ数年人数が増えているから、対策は成果が上がっている。病休者がゼロになることはない。やることはやっている」と県教委は繰り返しているが、教職員が毎日へとへとになりながら勤務している実態を自分の目で見て、耳で聞いて感じてほしいと思う。もちろん国も▼心身ともに健康な教職員のゆとりと笑顔が子どもたちへの教育効果をあげることにつながることは、疑いの余地がない▼教職員の勤務軽減のため、教頭に負荷がかかっているという話も聞く▼同じ教職員数の中で仕事をやりくりするだけなのでそうなるのは必然だ▼人を増やすしかない。それしか解決の道はない。

### 悲しい別れ

記事を頼もうと友人にメールを送った。「亡くなった教頭先生のお通夜に行くから後ほど」との返信▼2015年度、現職教職員の訃報を数回聞いた。みな「早朝・深夜・土日休みなく働いていた」と聞く▼教員には残業手当はない。その業務の特殊性から、4%の教職調整額でまかされている。香教組は、教職員の長時間過密労働の解消を長年、県当局や国に要求してきた。県教委は「教員業務改善アクションプラン」でかなりの成果が上がったと考えていると話す▼香教組は「本当に成果が上がっているのか検証してほしい」と要求▼具体的に運用するのも、点検・検証するの市町教育委員会や校長



「小黑板」  
記事を頼もうと友人にメールを送った。「亡くなった教頭先生のお通夜に行くから後ほど」との返信▼2015年度、現職教職員の訃報を数回聞いた。みな「早朝・深夜・土日休みなく働いていた」と聞く▼教員には残業手当はない。その業務の特殊性から、4%の教職調整額でまかされている。香教組は、教職員の長時間過密労働の解消を長年、県当局や国に要求してきた。県教委は「教員業務改善アクションプラン」でかなりの成果が上がったと考えていると話す▼香教組は「本当に成果が上がっているのか検証してほしい」と要求▼具体的に運用するのも、点検・検証するの市町教育委員会や校長



# BOND! Let's do it together!

## あなたはひとりじゃない! いっしょにやろう!

### 青年部の思い



#### 記念講演

これまでいろいろな場で聞いてきたことを整理することができました。また、それぞれの年代(子ども~大人まで)の方の実際の声をたくさん知ることができたのは、その苦しみや困り感を知ることとなりよかったです。

(広島 小学校 20代女性)

#### 分科会A 特別支援教育

小中学校では、特支の生徒の高校進学について真剣に悩まされていたので、高校でも学校ごとで窓口や対応がいろいろあることを知ってもらいたい。中高の連携はとても重要だと感じた。

(佐賀 高校 20代男性)

#### 分科会B 戦争をかたきづ



戦争を体験している人の生の声が聞けて、非常に貴重な時間でした。この話を次の世代に伝えていく手段や内容を今後考えていきたいです。そして、私ももっと勉強していきたいと感じた。

(香川 高校 20代男性)

#### 分科会C ワークショップ



アイデアが豊富で、日常で使うことができるアクティビティでした。

童心に返り、楽しく参加できました。

(岡山 高校 30代女性)

#### 分科会D 保護者対応



小野田先生のDVDを見ながらだったが「実際の現場は」という感じでの話し合いになって非常にわかりやすかった。

(山口 高校 30代男性)

たくさんの青年と交流をすることができ有意義な1日でした。香川県のみなさんのおもてなしも素晴らしく、楽しい1日を過ごさせていただきました。

(愛媛 高校 30代男性)

### 実行委員の声



初めてのことだったのですごく面白かった。その人があってこそ色(個性)がでる。実行委員長「自分が楽しいと思わないと参加者も楽しくないと思う」の言葉はその通りだと思った。大切にしようと思った。実行委員長と同じ年になったとき、同じようなことができるようになりたい。

(中学校 20代男性)

実行委員だったけれど、当日しか参加できなかった。会場の事前把握が不十分だったと反省。いろいろと課題が見えたけど、みんな楽しそうにしていたし、楽しかった。

(小学校 30代女性)

義務制の先生方との交流はとても貴重で、自分の世界の小ささを痛感させられる。これからの教育活動にこの経験を活かしていけるように頑張りたい。

(佐賀 高校 20代男性)

どれくらいの人が集まるか心配だった。高教組と香教組の青年部が初めは顔も知らないで始めたが、実行委員会を重ねるうちに仲良くなった。自分たちでつくと力になると実感した。

(小学校 30代女性)

運営するのは苦手な方。分科会は自分がしたかったこと。最後に全員が発言でき、全員参加の分科会になってよかったと思う。全教の会で友だちになった人と会えた。「また会えた」という経験をして、どんどん積極的に参加したいと思った。

(高校 20代男性)

これからも、高教組青年部といろいろ一緒にしていきたいと思った。県外の人喜んでくれてよかった。

(小学校 30代女性)



みんなに支えてもらってできた。1人では何もできないと思った。司会でも助けてもらった。次はもっと他の人のいいところも引き出せるようになりたい。

(小学校 30代男性)

「なんとかなるかな」と思いながら始め「なるようにしかならないな」と思いながら進め、最後は「なんとかなる」と思った。分科会は全員参加にはならなかった。もっといい方法があったと思う。しかし、みんなの笑顔に救われた。

